



定する。開始時期は9月頃を予定。初年度で約3000人の受講を見込んでいる。今回の制度スタートにあたって「一般消費者による受講だけでなく、サプリメントを販売している訪販やMLMの事業者の参加も積極的に呼びかけていく」（事務局）姿勢だ。

制度との違い、安全性の有効性に関わるエビデンスの理解などを狙いとして、製品の開発・マーケティングなど実際の業務にも役立つ知識習得を目指す。

度やエビデンス関連知識など総合的内容の「サプリメントプロフェッショナル」③海外の関連制度やエビデンスについて講師レベルの知識習得を目指す。

用するテキストは、国立健康・栄養研究所の「NR（栄養情報担当者）」資格に必要とされる知識・スキルに準拠。一方で、同資格に比べて関連の知識や海

外事情についても詳しくフォローしていく。3コースの受講費用は、7月頃に正式に公表。現時点では、①で3〜4万円②で5〜6万円③で10万円以下を重視していく。

6月24日に行われた総会でも説明が行われ、業界に広く参加を呼びかけた。なお総会は、役員人事でウェナードス会長と橋本正史（ケミン・ジャパン）理事

健康食品業界団体の国際栄養食品協会（AIFN）、事務局・東京都新宿区、ジョン・ウェナードス会長）は、9月をメドにサプリメント専門職の養成・認定制度をスタートさせる。養成コースの受講者には、認定試験を実施。所定の成績を修めれば、合格者として認

定する。開始時期は9月頃を予定。初年度で約3000人の受講を見込んでいる。今回の制度スタートにあたって「一般消費者による受講だけでなく、サプリメントを販売している訪販やMLMの事業者の参加も積極的に呼

びかけていく」（事務局）姿勢だ。

「サプリメント専門職」の養成・認定スタート

AIFNが訪販・MLMの参加よびかけ

9月メドに

受講希望者の知識やスキルのレベルに応じた3コースを用意しており、①栄養学などに関する知識や学術データを習得する初心者向けの「サプリメントベーシック」②各種法制

「上級サプリメントプロフェッショナル」になる（名称はいずれも仮称）。

養成方法は、①②は通信教育（計10回予定）が主体で、③は座学・研修が中心となる。使

り、このため「AIFNオープンカレッジ」では、サプリメント製品の企画・マーケティング等の業務にも積極的に活かせる教育内容を重視していく。

養成・認定制度は、

6月24日に行われた総会でも説明が行われ、業界に広く参加を呼びかけた。なお総会は、役員人事でウェナードス会長と橋本正史（ケミン・ジャパン）理事

定する。開始時期は9月頃を予定。初年度で約3000人の受講を見込んでいる。今回の制度スタートにあたって「一般消費者による受講だけでなく、サプリメントを販売している訪販やMLMの事業者の参加も積極的に呼

びかけていく」（事務局）姿勢だ。

受講希望者の知識やスキルのレベルに応じた3コースを用意しており、①栄養学などに関する知識や学術データを習得する初心者向けの「サプリメントベーシック」②各種法制

「上級サプリメントプロフェッショナル」になる（名称はいずれも仮称）。

養成方法は、①②は通信教育（計10回予定）が主体で、③は座学・研修が中心となる。使

り、このため「AIFNオープンカレッジ」では、サプリメント製品の企画・マーケティング等の業務にも積極的に活かせる教育内容を重視していく。

養成・認定制度は、